58 甘楽町重要文化財【製糸】

とみおかせいしじょうえま
富岡製糸場絵馬

富岡製糸場建設に携わった韮塚直次郎が、富岡製糸場の完成を記念して明治８年（1875）に甘楽町の笹森稲荷神社に奉納した絵馬です。富岡製糸場の全体を描いた鳥瞰図で、完成間もない富岡製糸場の様子を伺い知ることができます。甘楽町歴史民俗資料館に展示されています。

●場所／甘楽町大字小幡852-1（甘楽町歴史民俗資料館）
●交通／上信電鉄上州福島駅から車約5分
上信越自動車道富岡I.Cから約10分
●見学／休館日：月曜日、年末年始
●料金／大人200円、中学生以下無料
● 問 ／甘楽町歴史民俗資料館　TEL 0274-74-5957

59 日本遺産【養蚕】

かんらまち　ようさん　せいし　おりものしりょう
甘楽町の養蚕・製糸・織物資料

大正初期には約7 割の世帯が養蚕農家だった甘楽町で使用された養蚕・製糸・織物に関する道具や資料330 点です。養蚕農家で使用されていた道具のほか世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の4資産と関連する資料もあり、甘楽町歴史民俗資料館に収蔵・展示されています。

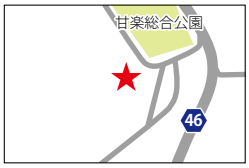
●場所／甘楽町大字小幡852-1（甘楽町歴史民俗資料館）
●交通／上信電鉄上州福島駅から車約5分
上信越自動車道富岡I.Cから約10分
●見学／休館日：月曜日、年末年始
●料金／高校生以上200円
● 問 ／甘楽町歴史民俗資料館　TEL 0274-74-5957

60【製糸】

とみおかせいしじょうどだいせきざいさいくつじょうあと
富岡製糸場土台石材採掘場跡

富岡製糸場の建設にあたり、建物の土台等に用いる石材が3,300本切り出されました。
採掘跡が階段状に7段程度残されており、石の表面にはノミの跡が多数残されています。

●場所／甘楽郡甘楽町大字小幡1929-1
●交通／上信電鉄上州福島駅から車約15分
上信越自動車道富岡I.Cから約15分
●見学／随時見学可（手すりがないため注意が必要）
● 問 ／甘楽町教育委員会　TEL 0274-74-3131

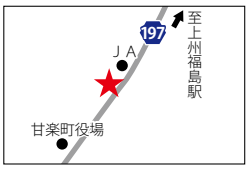


61 日本遺産【製糸】

かんらしゃおばたぐみゆらいひ
甘楽社小幡組由来碑

明治11年（1878）組合制による生糸揚返し場を作り、小幡精糸会社としてスタートした甘楽社小幡組の歴史と発展を伝えるため、大正6年（1917）3月に同組合敷地内に建てられた由来碑です。昭和53年（1978）に現在地へ移設されました。

●場所／甘楽町福島1761
●交通／上信電鉄上州福島駅から車約3分
上信越自動車道富岡I.Cから約10分
●見学／随時見学可
● 問 ／甘楽町社会教育課文化財保護係
TEL 0274-74-3131



62 沼田市重要文化財【養蚕】

きゅうすずきけじゅうたく　ぬまたしなんごう　まがりや
旧鈴木家住宅（沼田市南郷の曲屋）

東北地方の民家によく見られる形式で、県内では珍しい茅葺屋根の曲屋です。名主をつとめた旧家で、天明5年（1785）頃の建築ですが、後に養蚕のために台所の二階部分を蚕室とするなど改築が行われました。

●場所／沼田市利根町日影南郷158-1
●交通／JR上越線沼田駅からバスで約40分
関越自動車道沼田I.Cから約30分
●見学／休館日：木曜、年末年始
●料金／大人100円、中学生50円
● 問 ／沼田市利根支所　TEL 0278-56-2111

利根地区 MAP

吾妻地区 MAP

63 国天然記念物【養蚕】

薄根の大クワ（うすねのおおクワ）

山桑（やまぐわ）では日本一の巨木で、樹高は約13m、根本周囲は約5.7m、樹齢は1500年と推定されています。地元では「養蚕の神」として祀られており、周囲の桑園が霜害にあった際には、この桑の葉を養蚕に用いました。

●場所／沼田市町田町2083（石墨町1777　石墨大神宮隣）
●交通／JR上越線沼田駅からバス約23分+徒歩約2分
　　関越自動車道沼田I.Cから約15分
●見学／随時見学可
●　問　／沼田市社会教育課　TEL 0278-23-7565

64【養蚕】

利根風穴（とねふうけつ）

岩の隙間から吹き出す冷風を利用し蚕種を貯蔵した施設で、明治40年（1907）1月に開業しました。地下3メートルを掘削して石垣を積み、その上に二階建ての土蔵を建てて利用し、昭和16年（1941）まで稼働していました。

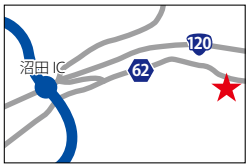
●場所／沼田市石墨町1106-2
●交通／JR上越線沼田駅から車約15分
　　関越自動車道沼田I.Cから約15分
●見学／見学困難
●　問　／沼田市社会教育課　TEL 0278-23-7565

65【養蚕】

蚕影山宮の石宮（こかげさんぐうのいしみや）

蚕影山は、茨城県の蚕影山神社を起源とする養蚕の神です。安政７年（1860）に越後の国（新潟県）の石工によって作られた蚕影山宮の石宮は、平出地区にある社殿内に安置され、現在でも毎年４月に地域の人々によるお祭りが行われています。

●場所／沼田市白沢町平出750-1
●交通／JR 沼田駅からバス約20分
　　関越自動車道沼田I.Cから約15分
●見学／次の日を除き、社殿内は非公開　1月1日、4月第1日曜
　　（ただし当該日が1日、2日の場合は次の日曜）、10月1日
●　問　／沼田市社会教育課　TEL 0278-23-7565

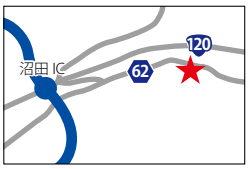


66【養蚕】

蚕神塔（さんじんとう）

蚕神塔は、明治9年（1876）に沼田市上久屋町（かみくやまち）内の十二山神社に造立されました。多くの蚕神塔は文字塔ですが、この蚕神塔は、坐像の女神が、種紙と桑の枝を持ち、左右に大きな繭玉が彫られています。毎年４月には、地域の人々によりお祭りが行われます。

●場所／沼田市上久屋町931-1
●交通／関越自動車道沼田I.Cから 約10分
　　JR上越線沼田駅からバス約20分
●見学／随時見学可
●　問　／沼田市社会教育課　TEL 0278-23-7565



67 日本遺産 国重要文化財【養蚕】

富沢家住宅（とみざわけじゅうたく）

富沢家は地元の村の名主を代々つとめた旧家です。この家屋は18世紀末頃の建築で、二階に専用蚕室を持つ国内最古級の養蚕農家です。大きな家で間口は23.9m、奥行きは12.9mあります。屋根に特徴があり、二階に光と風を取り入れるため茅葺きの正面を切り上げた構造です。

●場所／中之条町大道1274
●交通／JR吾妻線中之条駅から車約20分
　　関越自動車道月夜野I.Cから約30分
●見学／随時見学可。（2階は見学不可）
●　問　／中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」
　　TEL 0279-75-1922

68 国史跡【養蚕】

東谷風穴（あずまやふうけつ）

岩の隙間から吹き出す冷気を利用した蚕種（蚕の卵）の貯蔵施設です。蚕種を貼り付けた種紙を10万枚前後貯蔵でき、県内第2位の規模でした。明治40年（1907）に貯蔵を開始し戦前まで使用されました。現在は貯蔵穴2基と事務所の基礎が残っています。

●場所／中之条町大字赤坂
●交通／JR吾妻線中之条駅から車約20分
　　関越自動車道月夜野I.Cから約45分+徒歩約10分
●見学／見学困難
●　問　／中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」
　　TEL 0279-75-1922

69 日本遺産 国重要伝統的建造物群保存地区【養蚕】

くにあかいわようさんのうかぐん
六合赤岩養蚕農家群

白砂川の段丘と山に挟まれた集落です。集落の本道沿いに近代養蚕農家が建ち並び、その周囲に宗教施設や墓地が、さらにその周囲を農地が取り巻いています。明治から昭和40年（1965）頃迄は養蚕が盛んに行われていました。

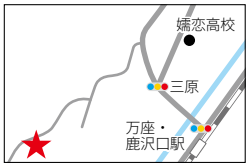
●場所／中之条町大字赤岩
●交通／JR吾妻線長野原草津口駅からバス約12分+徒歩5分
関越自動車道渋川伊香保I.Cから約80分
●見学／随時見学可。ガイド付き見学有り（要予約）
●料金／ガイド料:団体（20名ほど）2000円、個人（1名）500円
● 問 ／六合生涯学習係 TEL 0279-95-3013
ふれあいの家赤岩重伝建案内所 TEL 0279-95-3008

70 県史跡【流通】

なかいやじゅうべいはか
中居屋重兵衛の墓

中居屋重兵衛（1820～1861?）は吾妻郡中居村（現・嬬恋村三原）に生まれ、江戸で、白根山の硫黄を用いた火薬の製造販売を行い成功しました。開港後は横浜に出店、上州生糸などの販売で巨利を得たと言われています。

●場所／嬬恋村三原
●交通／JR吾妻線万座鹿沢口駅から徒歩約15分
関越自動車道渋川伊香保I.Cから約80分
●見学／墓参り可能
● 問 ／嬬恋郷土資料館　TEL 0279-97-3405



71 日本遺産 片品村指定重要文化財【養蚕】

ながいりゅうようさんでんしゅうじょじっしゅうとう
永井流養蚕伝習所実習棟

永井紺周郎は、火力を積極的に使う飼育法に気づき、種々の改良を加え、永井流養蚕術を確立しました。紺周郎が他界した翌年の明治21年（1888）頃に永井流養蚕術の伝習所として建設されました。夫の遺志を継いだ妻のいとが教師となり、ここで1,500名もの人々に技術を伝えました。

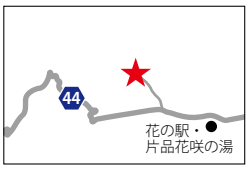
●場所／片品村針山4
●交通／関越自動車道沼田I.Cから約50分
●見学／外観のみ見学可
● 問 ／片品村教育委員会　TEL 0278-58-2144

72【養蚕・教育】

ながいぞう
永井いと像

永井流養蚕術を確立した永井紺周郎の妻のいとが、養蚕について講義を行う姿を描いた掛け軸です。机に置かれた数枚の種紙から左手で一枚取り、右手の手振りを交えて真剣に話す表情がうかがえます。

●場所／利根郡片品村大字針山3
●交通／関越自動車道沼田I.Cから約50分
●見学／企画展示時等に公開
● 問 ／片品村教育委員会　TEL 0278-58-2144



73 県重要無形民俗文化財【養蚕】

もんぜんはるこま
門前春駒

「春駒」は新年に行う豊作祈願の門付け芸で、門前地区でも家内安全と養蚕の豊作を祈願する祭りとなっています。旧暦の元旦である2月11日に、青年の男子がおっかあ1人、踊り子2人、おっとう1人に扮し、歌と踊りを披露しながら家々を廻ります。

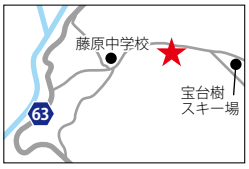
●場所／川場村門前
●交通／JR上越線沼田駅からバスで約30分
関越自動車道沼田I.Cから約15分
●見学／祭礼日2月11日
● 問 ／川場村教育委員会　TEL 0278-52-3458

74 国重要有形民俗文化財【養蚕】

くもこしけじゅうたく
雲越家住宅

降雪地帯に適した重厚な造りで、明治20年（1887）に建てられました。雲越家は農家として稲作、畑作のほか養蚕も行い、養蚕用具が739点残されています。現在は雲越家住宅資料館として公開されており、明治から昭和にかけての山村農家での養蚕の実態がうかがえます。

●場所／利根郡みなかみ町藤原3688
●交通／JR上越線水上駅から車約20分
関越自動車道水上I.Cから約30分
●見学／5月～11月の土・日・祝日
●料金／高校生以上200円、小中学生100円
● 問 ／みなかみ町教育委員会　TEL 0278-25-5025



75 町指定重要文化財【養蚕】

かわいけじゅうたく
河合家住宅

河合家住宅は、明治時代に建てられた大型農家の建物です。2階と屋根裏は区切りのない大きい空間で、養蚕場として使用されていました。採光は屋根が兜造りになるので両妻に開口部を設けています。

●場所／利根郡みなかみ町東峰220-1
●交通／JR上越線後閑駅から車約25分
関越自動車道月夜野I.Cから約20分
●見学／個人宅のため、非公開
外観のみ見学可
● 問 ／みなかみ町教育委員会　TEL 0278-25-5025

76 国重要文化財【織物】

ひこべけじゅうたく
彦部家住宅

彦部家の主屋は江戸時代初期の民家として、関東地方でも最古級の建物です。この主屋の北側は、江戸時代より染織工場として使用されていました。彦部家は明治から大正にかけて鋸屋根工場や寄宿舎、医務所を建て、近代的な織物工場になりました。

●場所／桐生市広沢町6-877
●交通／JR両毛線桐生駅からバス約20分
北関東自動車道太田桐生I.Cから約10分
●見学／開館日：土曜・日曜・祝日、平日は要予約
●料金／大人500円、小中学生300円
● 問 ／彦部家住宅　TEL 0277-52-6596

77 日本遺産 桐生市重要文化財【織物】

きゅうもはんこうじょうきりゅうねんしごうしがいしゃじむしょとう
旧模範工場桐生撚糸合資会社事務所棟

大正６年（1917）に建築された撚糸工場事務所棟で、県内最古級の洋風石造建造物です。かつては敷地内にノコギリ屋根工場が並び建ち、糸の「撚り掛」を機械化した、全国６カ所の「模範工場」の一つでした。現在は郷土資料の展示施設として公開されています。

●場所／桐生市巴町2-1832-13
●交通／JR両毛線桐生駅より徒歩4分
北関東自動車道太田藪塚I.Cから約20分
●見学／休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、
祝日の翌日及び年末年始（12月28日から1月4日）
●料金／大人150円、小人50円
● 問 ／絹撚記念館　TEL 0277-44-2399

78 桐生市重要文化財【養蚕】

あかぎがたみんか
赤城型民家

赤城型民家とは、赤城山南麓に多く見られる茅葺き屋根の前面中央を切り上げた建築様式です。これは屋根裏を養蚕に利用する目的で、光と風を取り入れるためです。この家は明治初め、前橋市内に建てられたものを移築したものです。

●場所／桐生市新里町鶴ヶ谷460-1（ぐんま昆虫の森園内）
●交通／上毛電鉄赤城駅から車約10分
北関東自動車道伊勢崎I.Cから約25分
●見学／休園日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始、臨時休園あり
●料金／一般410円　大学生・高校生200円　中学生以下無料
● 問 ／ぐんま昆虫の森　TEL 0277-74-6441

79 日本遺産 国登録有形文化財【織物】

きりゅうおりものかいかんきゅうかん
桐生織物会館旧館

昭和９年（1934）に桐生織物向上のため設立された桐生織物同業組合の事務所として建てられました。外壁はスクラッチタイル張、屋根は青緑色の日本洋瓦葺、２階窓にはステンドグラスを用いて洋風の外観となっています。現在は「桐生織物記念館」として一般公開しています。

●場所／桐生市永楽町6-6
●交通／JR両毛線桐生駅から徒歩約10分
北関東自動車道太田藪塚I.Cから約25分
●見学／休館日：毎月最終週の土曜日・日曜日
８月中旬、年末年始
● 問 ／桐生織物記念館　TEL 0277-43-7272